

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	1	必修
担当教員			
中村 雅典・清水 真紀子			
G (現代ビジネス学科)	L (基礎科目)	SM (演習)	101 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	ゼミナール形式の授業により、知的活動でも、職業生活、社会生活でも必要となる基本的な日本語の運用能力を身につけることを目的とし、日本語によるレポート等の論理的な文章を書くための基本を学びます。書くためには自ら「資料を調べ」、「読み解き」、「考え」、そして「意見交換」等のプロセスを行い、短大の学修活動で基礎となるアカデミックスキルを身に付けます。また、社会における実務に対する基礎教養知識の向上を図るとともに、就職活動への入り口として自立的な就職活動意欲の醸成を目指し、「英語・編入コース」の特長でもある英語学修や編入学試験を想定した支援を行います。		
授業計画	第1回	【遠隔】オリエンテーション 英語・編入コースについて、ゼミ概要説明、履修指導、自己紹介 予習（時間）：シラバスを読む。自己紹介ができるように準備する。（30） 復習（時間）：履修上の疑問点、わからないところを洗い出し、次の授業に備える。（30）	
	第2回	【遠隔】大学生活の過ごし方 大学生活の過ごし方に関して、どうすれば有意義に過ごせるのか考えていきましょう。 予習（時間）：大学生活をデザインできるように準備する。（30） 復習（時間）：課題をレポート「私の大学生活の過ごし方」をまとめる。（30）	
	第3回	【遠隔】大学生活の過ごし方：情報共有 大学生活の過ごし方について、スモールグループで情報共有をする。 予習（時間）：「私の大学生活の過ごし方」の口頭発表練習を行う。（30） 復習（時間）：共有した情報をもとに「私の大学生活の過ごし方」をリバイズする。（30）	
	第4回	【遠隔】大学生活の過ごし方2 遠隔授業を行ってきた中で見えた課題、問題点の共有 従来の大学生活と違い、遠隔で授業を受けてきた中で大学生活を振り返り問題点や課題などを共有する。 予習（時間）：他の学生の過ごし方を鑑み、見えた問題点をまとめる。（30） 復習（時間）：問題点、課題点を発表できるようにまとめる。（30）	
	第5回	大学生活の過ごし方3：第4回でまとめたものを口頭で発表する（プレゼンテーション） 第4回でまとめたものを口頭で発表する。 予習（時間）：プレゼンテーションのリハーサルを行う。（30） 復習（時間）：フィードバックをもとに、プレゼンテーションを見直す。（30）	
	第6回	【課題】スタディスキル：インターネットを使った情報収集と注意点 インターネットを使った情報収集と注意点について学修する。わかったことを簡単なレポートにまとめて提出する。 予習（時間）：資料（教科書 p 60－63）に目を通し、指定課題をこなす。（30） 復習（時間）：難しかった点をまとめておく（30）	
	第7回	スタディスキル：図書館で資料を探す。 図書館での資料の探し方を学修する。 予習（時間）：教科書（p 56－59）を読む。図書館のポータルサイトにいき、概要を読む。（30） 復習（時間）：研究倫理について復習する。（30）	
	第8回	スタディスキル：進路について考える 自身の進路（英語、編入、留学、ワーホリ、就職）について考え、ディスカッションを行う。 予習（時間）：今後の進路に関して情報共有できるようにまとめる。（30） 復習（時間）：フィードバックをもとに進路について再度考える。（30）	
	第9回	スタディスキル：進路に関して具体的な調査活動を行う 自身の進路（目標）に対し、具体的に何ができるのか、今なにができるのかなど、具体的に調べまとめる。 予習（時間）：進路に関して今なにができるかを考えてまとめてくる（30） 復習（時間）：調査結果をまとめる。（30）	
	第10回	【課題】スタディスキル：プレゼンテーション（発表資料の作成） 自分の進路について、パワーポイントを使用しプレゼンテーションを行うための資料を作成する。 予習（時間）：教科書（p96－99）を参考にして発表の資料を作る。（30） 復習（時間）：フィードバックをもとに、資料を見直し必要であれば手直しする。（30）	
	第11回	スタディスキル：プレゼンテーション 第8, 9, 10回で準備した集大成として発表する。 予習：教科書(p100-104)を読み、発表の練習をする（30）	

	復習：反省点などをまとめておく（30） 【課題】レポート作成の仕方 reportの書き方を学修します。 予習（時間）：教科書（p80-95）を読み、まとめる（30） 復習（時間）：実際にレポートが作成できるように要点を整理しておく（30） 第13回 レポート作成の仕方2 第12回の準備を踏まえ集大成レポートのためのアウトラインを作成する。 予習（時間）：資料を参考にしてアウトラインを作成する。（30） 復習（時間）：フィードバックをもとに、アウトラインを見直す。（30） 第14回 レポート作成の仕方3 第12, 13回で準備したアウトラインをもとにレポートを作成する。 予習（時間）：レポートを作成する。（30） 復習（時間）：フィードバックをもとに、必要であれば見直す。（30） 第15回 総復習 全体のまとめをおこない、このコースで学んだことを振り返る。 予習（時間）：講義の学びをふりかえる（30） 復習（時間）：抜け落ちていたところがあれば再確認する（30）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（短期大学部）の次の項目を意識した科目になっている。 3. 組織において協働できる能力を身に付ける。 [身につくスキル] 主体性・デジタルリテラシー
到達目標	①インターネットや図書館を利用して基本的な情報収集ができる。 ②短大での学びで求められるレジュメ、スライド、レポート作成のための基本的な知識と技能を持つ。 ③短大の学びの特徴を知り、目標と計画を立てることができる。 ④積極的に発言でき、他の人の考えや意見を聞くことができる。 ⑤グループで共同作業ができる。 ⑥コース専門領域の基礎教養知識を説明することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の全体的な注意点などを授業内で説明します。
履修上の注意	・無断欠席、遅刻、授業中私語、飲食禁止。携帯電話は電源をOFFにし、カバンにしまうこと。 ・授業後リフレクションシートの提出をもって出席とみなします。未記入など不適切な提出は出席とみなしません。また遅れた分のフォローアップは各自の責任のもと行うこと。 ・欠席（公欠含む）6回で履修放棄とみなすので注意すること。
成績評価の方法・基準	リフレクションシートの提出30% プレゼンテーション30% レポート40%
教科書	スタディスキルズ・トレーニング 大学で学ぶための25のスキル 吉原恵子他 実教出版 1200円
参考書・教材	
備考	2020年度は6, 10, 12回を課題研究として学修する。 第6回は「インターネットを使った情報収集」など教員が指示したテーマについて指示された情報源や方法でレポートを作成し、教員の指示に従い完成させ、提出する。実作業全体で150分の学修を想定している。 第10回「自分の進路について」というテーマにおいて、その前の準備を基にパワーポイントを使ったプレゼンテーション資料を作成し、教員の指示に従って提出する。実作業全体で150分を想定している。 第12回は教員が指示したテキストブックを参照し、注意点をまとめ、教員の指示に従い提出する。実作業全体で150分を想定している。
教員との連絡方法	Mellyをよく使うので各自授業開始前までにセッティングしておくこと。その他メール及びオフィスアワー